10、11の両日、登米祝祭劇場演「おとぎの森の大冒険! た観客を魅了した。涙あり、笑いあり、感動ありの舞台をカメラが追った。 市内の小中高生を中心に活動するミュー 11の両日、登米祝祭劇場で開かれ、キャスト、スタッフ約100 "で開かれ、キャスト、スタッフ約100人の手づくり舞台が、詰め掛け~さがせ!私の物語~」(公益財団法人登米文化振興財団主催)は9月 -ジカル 劇団「ドリ ム☆キッズ」の第14回ミュージカル公



会っ

たのは、豆の木のジャッ

思議な森に迷い

込む。そこで

めだ」と悩んでいたヒカルは、不

■全身でメッセージを送る 団員たち2集めたアイテムを、牛のミルキー(中央)が飲み こみ乳を搾る目役者をメー クするスタッフ。裏方の支え があってこそ舞台は成立する**4**「あづい~」。ずーずー弁 でコミカルな動きをする姫 (右)。笑いと登米市らしさ を織り込むのがドリーム☆ キッズ流52日間で約1300 人の観客が訪れた 6チルチ ルミチルやピノキオら、童話 の主人公が勢ぞろいる感動 のクライマックス。女巨人に 全てを打ち明け、許しを願う ヒカルたち。思いは届いた

Interview

責任ではない」。おとぎ話の主

る。「うまくいかないのは自分の

うまく進まず、不満を募らせ テム集めに奔走するヒカル。事 兄そっくりなサンとともに、ア

千葉由美さん 中田町加賀野一

果。逃げて

。逃げても何も始まらない」と。「良いも悪いも自分で決めた結

方不明に。そのときみんなが気づたサンは、巨人に投げ飛ばされ行

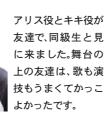
やがて嘘がばれ、

巨人に問い詰め

れる一同。みんなを守

自分が助かるために嘘をついた。 ジャックは女の巨人に追われ、公たちも同じことを思っていた。

今回で5回目の鑑賞 です。いつも子ども と前の席で見てい ます。団員の演技と ークに毎回 荒井夢姫さん 登米町金沢山





「迷いの森」だった。

人が告げた。「3日間で4

ムを集めろ」。集めら

n

n

が告げた。「3日間で4つのア途方にくれるヒカルに森の番

いがかなうという。

たち。彼らも迷ってい

た。ヒカル

る森は、迷える者が集まる

ンデレラら、おとぎ話の主人公

迫町山の内

陽太とヒカル。「今のままではだどこにでもいるきょうだいの

阿部猛さん・壮翼君

親子4人で来まし た。みんな、よい表情 で演技しており、見 ていて楽しくなりま した。ストーリーも 良く、感動しました。

千葉健さん

「陽太(サ 主役を一昨年経験してい たので、自分が「ヒカ ン)」を演じ ル」をリードする役割だ と思っていました。公演 は、お客さんも自分たち も楽しめたと感じていま す。ドリーム☆キッズを、 支えてくれる全ての人た ちに感謝しています。

仲間と越えた重圧 登米高1年(東和町錦 でいた主役。選ばれてうそししかったです。でも、そししかったです。でも、その重圧に悩む日々ではた 仲間に気持ちを打ち た。仲間に気持ちを打ち 明けると「私たちも不安 だよ」と。そこから吹っ切 れて、本番では最高の演 技ができました。

区



者たちが中心となり、同年11これに参加した子どもと保護 月に結成した。 登米文化振興財団が、 クショップ「祝祭子ども隊」。 ミュージカル は、地域に根ざして活動す 「劇団ド いたミュ 劇団だ。(公財) ム☆キッズ」 -ジカルワ 02 年 9

人も出演している。運営、広報以外に公募した準キャスト2 備をしている。 どもと大人が1年がかりで準 活動、舞台道具や衣装の製作 が在籍。今回の公演には、団員 中高生で構成され、現在36人団員は市内と近隣市町の小 者や地域のボランティアが担 など、ほとんどの役割を保護 回の公演に向けて、子

マに創作している。その中で、時代に合ったものをテー るものが織り込ま に、登米地域をイメージさせ 舞台 ロの脚本 はオ ・ジナル いる。

だからこそできる取り組み。さんのお陰。この劇団は本市り、支援いただいた多くの皆 化の創造と発信に注力してい活動を展開したい」と、地域文今後も、登米地域ならではの のは、関係者の努力はもとよは「15年も活動を続けられた 同財団の佐藤寛一理事長

全支援者に感謝を

(東和町錦織1

03 2016.11